



Innovation for the Rotary club ロータリーに新風を 2014 年 4 月のロータリーレートは1ドル= 102 円  
地区大会は 10/4 ~ 10/5



## 例会便り

第 745 回例会

ホテル日航 4F

6/5 (木) 19:00

例会出席率 23/37 62.16 %

武藤清秀 SAA 3 月の平均出席率は、69.50 %

### 点 鐘

国歌 『君が代』

ロータリーソング 『ROTARY』

四つのテスト

会長 挨拶: いよいよ明日から 3 日間、金沢百万石まつりが始まります。梅雨前で天候が心配なところですが、雨が降らないことを願っております。



6 月に入り、私も年度末となり、例会もあと 2 回となりました。当初から今日まで不安でしたが、今は少しホッとしている瞬間でもあります。さて、皆さんもご存じのとおり、事務局の村木様のご主人の転勤で神奈川県金沢区に行かれる訳ですが、本日で皆さんとは最後になりました。1 年 4 ヶ月の短い期間ではありましたが、村木様にはさすが頑張っていたいただき、心から感謝申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。又、金沢に来られましたらぜひ顔を出して下さい。お待ち致しております。それから、ブリアナさんも今月の 21 日に帰国となり、本日の例会で最後となります。まだ 2 週間程残っておりますが、最後まで大いに楽しんで下さい。その間、ホストファミリーをしていただきました、川会員、江守会員、そして東海林会員のご友人で村井様におかれましては、大変お世話になり、誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。話によりますと、ブリアナさんはこの金沢が大好きで帰りたくないとの事でした。これもお世話いただいた皆さんのおかげであり、重ねてお礼申し上げます。

**ゲストの紹介** (卓話者) 米山記念奨学会委員長 若野(わかの)恒彦(つねひこ)様 (ブリアナさんホームステイ先) 村井様ご家族 久(ひさ)純(よし)様(さま)、奥様 公(く)美(み)様、櫻子(さくら)さん、颯(そう)真(ま)くん

### クラブ例会予定 2013-2014 年度

- 6/5 若野恒彦様 (地区 R 米山記念奨学会 委員長)
- 6/12 東田陽博 様 (金沢大学 子どものこころの発達研究センター 特任教授) 理事役員会
- 6/19 後藤徹 様 (金沢美大視覚デザイン教授)
- 6/26 慰労会・新入会員歓迎会

### 2013 ~ 14 理事・役員 委員会 ★太字: 理事役員

**(役員)** 会長: 野城勲 **エ**外: 宮永満祐美 副会長: 若狭豊 副会長: 魏賢任 幹事: 上杉輝子  
副幹事: 井口千夏 会計: 東海林也令子 **SAA**: 武藤清秀 直前会長 北山吉明  
**(理事)** **クラブ管理運営委員長**: 西村邦雄 副: 二木秀樹 親睦: ○二木秀樹 金沂秀 村田祐一 杵屋喜三以満 井口千夏 **プログラム**: ○魏賢任 木場紀子 谷伊津子 武藤清秀 **SAA**: ○武藤清秀 大路孝之 川きみよ **ニコニコ**: ○江守巧 東海林也令子 土田初子 **友好・クラブ細則**: ○水野陽子 宮永満祐美 岩倉舟伊智  
**奉仕プロジェクト委員長**: 木場紀子 副: 水野陽子 **職業**: ○永原源八郎 竹田敬一郎 **社会**: ○谷伊津子 辰己クミ 大沼俊昭 **国際**: ○川きみよ 江守道子 井口千夏 東海林也令子  
**喫煙問題**: 村田祐一 **会員組織委員長**: 金沂秀 副: 辰己クミ **会員増強修練**: ○藤間勘菊 石丸幹夫 炭谷亮一 金沂秀 魏賢任 **ロータリー財団委員長**: 藤間勘菊 副: 永原源八郎 **ロータリー財団・米山寄付**: ○木場紀子 藤間勘菊 川きみよ 大路孝之 **年次寄付**: 野城勲 **広報委員会委員長**: 村田祐一 副: 江守道子 **広報**: ○杵屋喜三以満 相良光貞 宍戸紀文 **ロータリー情報**: ○若狭豊 竹田敬一郎 山崎正美 **会報ホームページ**: ○石丸幹夫 宍戸紀文 稲山訓央 **常任理事**: 石丸幹夫 吉田昭生  
**理事会オブザーバー・アドバイザー**: パストガバナー 炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智  
**監査** 後出 博敏  
**長期姉妹クラブ担当** 南光州: 金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央: 炭谷 岩倉 石丸 藤間 京都北東: 炭谷 杵屋 水野 高崎: 石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ 1 ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241 (事務局) 村木早苗・古賀恵

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp

ホームページ URL

http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9:00 ~ 15:00 休憩時間 12:00 ~ 13:00

木 15:00 ~ 20:00

休日 (土日祝日) 幹事 上杉輝子

(国際青少年交換受入学生) ブリアナさん お小遣い支給と交換留学プログラム修了証書授与  
帰国前ご挨拶

ブリアナ・カルディナさんの挨拶：私の名前はブリアナ カルディナです。アメリカから来ました。ニューヨーク  
しゅうのバッファロー市に住んでいます。英語を話します。最近、日本語をしゃべれるようになり  
ました。きょ年、8月に日本に来ました。日本語をぜんぜん知りませんでした。学校で、私は  
何をすればいいかわかりませんでした。それはとても難しかったけどできました。たくさんのた  
のしいことをしました。



すごい人々にあいました。たくさんの所に行きました。私の一番好きな所は金沢です。帰ることが  
ふしぎな気持ちになります。帰るのはたのしみですが、とても悲しいです。川さん、ありが  
とうございます。大好きですよ。おばあちゃんのおべんとうが一番美味しかったです。ユーモアが  
いっぱいです。ゆうちゃん、がんばって、きみよちゃんも！おばあちゃんとおじいちゃんはやさ  
しくて、おもしろいです。えもりさん、ありがとうございます。おおパパとおおママはすごくにぎやかでした。あ  
いくんよりょうりはさいこですよ！しのちゃん、たくさんおもしろくてたのしいかわがあります。せん月に な  
かまちひろこさんのピアノコンサートにいきました。友達とあいました。バスケぶに入りました。とても楽しいで  
す。

クラブより記念品、お花贈呈



ビジターのご紹介： 小松シティ RC 大杉 忠夫様、杉  
本 隆様、高岡 哲夫様、西田 廣明様、濱本 哲成様、  
榎本 嘉郎様、和田 雄市様

小松シティ RC の会員が多数参加

今月の誕生者の紹介： 15日生まれ 川(かわ) きみよ 会員 16日生まれ 魏(ぎ) 賢(けん)任(にん)  
会員 17日生まれ 永原(ながはら) 源(げん)八郎(はちろう) 会員



事務局 村木 早苗さん退職のご挨拶



クラブより記念品贈呈

1年4ヶ月の勤務でしたが、これまで木曜日は楽しみでした。横浜の金沢区にまいますが、金沢市の宣伝をいたします。百万石クラブがご発展され、皆様もお元気でありますようお願いいたします。



《 食 事 》

幹事報告/委員会報告

上杉輝子幹事：来週は新旧役員理事会があります。必ず御出席お願いいたします。来年度の予算確認がございます。

井口千夏次期幹事：先日の地区研修協議会の事で永田ガバナーエレクトと高岡万葉RCからお礼状が来ております。次の地区大会もよろしくとの事でした。



ニコニコBOX

¥ 71,700- 本年度 ¥663,800- 残高 ¥5,432,514-



若野様：二度目の例会訪問になります。今回も卓話の機会を頂き厚く御礼申し上げます。更に何時もフレンドリーな歓待に感謝いたします。今後とも米山の事業に倍旧のご支援をお願い申し上げます。小松シティRC：はじめてメイクアップさせていただきます。双子の点鐘クラブ小松シティRCの7名です。家庭集会のひとつの企画として例会の勉強にやってみりました。よろしくお願ひいたします。野城会長：若野様宜しくご指導の程お願ひいたします。村木様ご苦勞様でした。又、顔を出して下さいね。ブリアナ様もうすぐ帰国ですね。残り大いに楽しんで下さい。上杉幹事：六月四日（水）に事務局の村木さんの送別と新事務の古賀さんの歓迎の食事会の予算の残金、にここにさせて顶きました。お二方大変お世話になります。また。北山会員：①ブリアナさん、金沢で学んだり身につけた芽を、自国に帰ってから大切に育ててください。それが大きな樹になった時、国際人という名にふさわしい人間になりますから。②村木さん、ありがとうございます。お元気で。会長の時には本当に助かりました。感謝しています。木場会員：若野様卓話楽しみに聞かせていただきます。ブリアナさんお元気で。村木さんありがとうございます。東海林会員：米山委員長若野様卓話楽しみにしています。ブリアナさんお元気で。村木さんありがとうございます。今晩からNHKEテレ青山ワンセグ開発で息子の作品「平成サウダージ」が放送されます。炭谷会員：若野様今夜はご苦勞様です。事務局の村木様お世話になりました。御健康と御活躍を祈念いたします。土田会員：土田です。ご無沙汰しています。またお願ひいたします。永原会員：先日中央ヨーロッパ4カ国に行つて来ました。ハンガリーのブタペスト、オーストリアのウィーン、チェコのプラハとスロバキアです。中世のおも影の残る美しい町並とその文化を堪能して来ました。ウィーンのシェーンブルグ宮殿の中庭でウインフィルハーモニー管弦楽団のサマーフェスティバルが行われてました。藤間会員：若野米山委員長、今日はありがとうございます。村木さん、一年間ありがとうございます。ブリアナさんお元気で。

講話の時間

『 米山事業変革 』

2610 地区米山記念奨学会委員長 若野(わか)の 恒彦(つねひこ)様

プロフィール：

(自己経歴)

ワカノ電工株式会社 代表取締役社長 職業分類 電気器具販売



(ロータリー歴)

- 1990年 高岡RC入会
- 1995年 クラブ幹事
- 1998年 地区副幹事
- 2010年 クラブ会長
- 2011年 地区米山奨学生委員
- 2012年 地区米山奨学会委員長
- 2013年 地区米山奨学会委員長
- 2014年 次期地区米山奨学会委員長



講師紹介：藤間勘菊  
地区米山記念奨学会  
副委員長

講話：梅吉は、慶応4年2月4日、東京柴田村町で武士・和田竹造の三男として生まれました。お母さんは「うた」といって三島大社の神主の娘でした。三島の学校に通わず、長泉に通ったのは、兄がそこで先生ををしていたからでした。学校では大変成績が良く、12歳の時米山家から養子の話が起きました。米山家は400年続いている旧家で、13代目当主米山藤三郎氏は長泉村の

第3代村長も務めました。明治14年、梅吉は米山家から沼津中学に通うようになりました。当時、江藤素六校長で梅吉少年は大きな影響を受けました。学校では政治演説を聞くことを禁止していましたが、梅吉は大いに興味を持って聞きにでかけていました。

明治16年黙って家を出た梅吉は、3日ばかりで東京につきました。鉄道もなく、歩いて箱根を越え、横浜から汽車に乗りました。沼津中学の先輩をたよって、銀座の江南学校に入学しましたが、もっと勉強したいと漢学者土居光華先生の書生になりました。しかし満足しませんでした。

アメリカへ行けばお金がなくても、スクールボーイをしながら学校へ通える事を知ったのです。この頃、アメリカまでの旅費は100円ぐらいでした。そこで、しばらく学問をあきらめ東京府の公務員に合格、資金ををためました。だまって、米山家をでた梅吉は、ある日米山家を訪ね、許して貰い、アメリカへ行く事も了解してもらいました。明治20年梅吉は米山家の養子となり入籍しました。そして翌年、親兄弟に見送られてアメリカに出発しました。メソジスト派の福音派をたよってアメリカに渡り、サンフランシスコに滞在しました。ここには40～50人の日本人青年がいろいろな志をもって身を寄せていました。この頃東京英和学校（後の青山学院）でお世話になった本多庸一先生もアメリカに来ていました。ある晩、本多先生を訪ねた梅吉は、先生が火鉢の灰に「巧遅拙速」となにげなく書いたのに気がつきました。鋭い梅吉青年は「まずく速いより、遅くて良い方が良い」といさめられた事をさとりしました。



江戸時代、鎖国をしていた日本に開国をすすめた提督ペリーの伝記を読んで、尊敬していました。そしてペリーの生地ニューポートを訪ねた事もありました。この頃学費を持ってアメリカに行く青年はほとんどありませんでした。アメリカには貧しい青年のために学問の道が開けていました。こうした学生はスクールボーイと呼ばれ、住む部屋を与えられ、仕事の合間に学校へ行く事が許されていました。梅吉はこの仲間に入って働きながら勉強をしました。梅吉は、福音会関係のハリス監督の推薦でオハイオ州のウエスレアン大学へ入学、さらにニューヨーク州シラキュース大学で法学を学びました。学費を稼ぎながらの苦しい8年間でしたが、梅吉青年は世界の事に触

れ、いろいろな事を学びました。

明治28年梅吉はアメリカから帰国しました。新聞記者をめざしていた梅吉は、アメリカで書いた原稿「提督彼理」を出版しました。このほんの題字は勝海舟に書いて貰っています。この頃、梅吉は勝海舟とはしたしく、榎本武揚、福沢諭吉とも交友がありました。

3人でまとめた報告者は三井銀行ばかりでなく、日本の銀行を改めるものとなりました。いつしか三井の米山ではなく、日本経済界の代表者の一人になっていました。

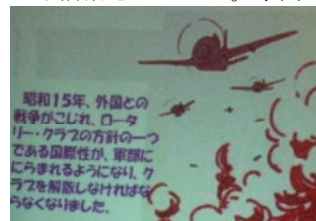
大正3年47歳の時「新隠居論」という考えを発表しました。これは、年寄りには後進に仕事をゆずり、経験を生かして社会に尽くす仕事をすすめるものでした。

大正9年、53歳の時、梅吉はアメリカで創立された奉仕団体ロータリークラブを日本に設立し、会長になりました。そしてロータリー会員としての奉仕の生活 新隠居論の実行に力をそそぎはじめました。大正10年、梅吉は米英訪問実業団にくなり、アメリカにむかいました。このときフランクリン・ルーズベルト大統領、ロックフェラー研究所の野口英世博士とあいました。

梅吉は「銀行行余録」「常識関門」「看雲録」など多くの本を出版しました。この中で梅吉の優れた考えが伺われます。大正13年日本で初めて信託会社、三井信託株式会社を創立しました。昭和9年三井家が協力して設立した「三井報恩会」の理事長を務めるようになりました。さらに昭和13年貴族議員に勅擧げられました。

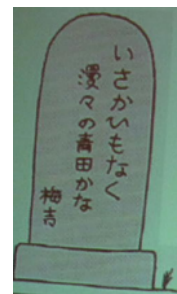
昭和6年、梅吉は郷里の長泉小学校に図書館と本を寄付しました。これは「米山文庫」と呼ばれて人々に親しまれ、利用されると共に、村人の自慢の一つになりました。昭和12年私財をなげうって緑が丘小学校（青山学院初等科の前進）を創り、新しい教育に手がけました。ここでは、あたたかい雰囲気の中で、ただしくのびやかに信頼できる人間教育をしたいと考えていました。毎週1回の梅吉校長先生のお話は「人々にしてほしいとあなたがたの望むことを、人々にもその通りにせよ」という聖書の言葉を毎回読み、それについてのお話でした。

昭和9年梅吉は三井報恩会の仕事に専念するよう煮なりました。三井報恩会は貧しい人々を救うためにいろいろな活動をしました。学問の研究や実験の協力をしたり、助けた人は数えきれません。これは奉仕の精神をもった梅吉のリードによるものでした。



昭和15年、外国との戦争がこじれ、ロータリークラブの方針の一つである国際性が、軍部にこられるようになり、クラブを解散しなければならなくなりました。

米山梅吉の墓は鶴見の総持寺と長泉村上土狩の両方につくられました。上土狩の墓石は、終戦後まもなくものが不足していたので、梅吉の句碑をそのままお墓にしています。「いさかいもなく漫々の青だかな 梅吉」長泉という名でありながら水のとぼしかった土狩は水喧嘩がよく起きました。この句は、雨が打って一安心した気持ちをうたっています。



戦後、昭和24年ロータリークラブは復活しました。梅吉の残した仕事を記念して、米山記念奨学会がロータリークラブ仕事の一つとして生まれ、アジア各国から日本に留学している学生に、今も奨学金が贈られています。

偶然の一致 誕生 米山梅吉 1868年 4/19 ポール・ハリス 1868 2/26  
 享年 1947 1/27 78歳 1947 4/28 78歳

### 米山事業の使命

寄付増進が究極の目的ではありません！ 日本と日本人を理解した優秀な学生を世界にはばたかせることです。国際親善の輪を大きく広げること！です。これが私達ロータリアンの誇りです。

2014～2015 地区重点目標は①一人当たり平均寄付額 16,000円（全国800名支援の為、必要経費14.5億円を全会員数で割った金額）②クラブ普通寄付 年間6,000円完遂！（昨年は24クラブが達成、49クラブ完遂。残りは16クラブ）③サブクラブ制度の拡充

普通寄付額地区ランキング 2013.6.30

1位 2580 地区東京東北部 6,268円 2位 2640 地区 大阪和歌山 5,995円  
 3位 2750 地区東京西南 5,897円 4位 2610 地区 富山石川 5,788円

普通寄付にこだわろう！全員参加の奉仕として特別な意義があります。！目指せ日本一を！

地区重点変革課題 ①海外応募枠の採用 更に日本語運用は不問 ②選考試験の変革 ③サブクラブ制度の拡充 ④独立した専任委員長の増強

選考試験の変革 3倍枠から MAX2倍枠に変更 交通費も検討課題

サブクラブの名前は交流クラブに変更 少しでも多くの米山学生との接触をはかりたい。金沢百万石の送迎サポートで実行された。

2610 地区では独立した専任委員長の増強 兼務 38 単独 28 実績として伸張率は独立は 1.405 兼務は 1.298 である。

点 鐘

事務局送別歓迎会 2014.6.4 (水) ホテル日航桃李にて 12:00より



村木早苗さん：おかげさまで1年4ヶ月支障なく、楽しかった思い出です。主人の転勤で神奈川の金沢区へ行く事になりました。ありがとうございます。

古賀 恵さん：到らない事もあるとおもいますがよろしく願いいたします。

カルディナさんには交換留学プログラム修了証書と花束、プレゼントが贈られた。引き続き、米山記念奨学会委員会の若野恒彦委員長による卓話が行われた。

カルディナさんは昨年8月から約10カ月間、市内3家庭にホームステイしながら北陸学院高に通った。カルディナさんは、家族や触れ合った会員との思い出を振り返り、「帰るのは楽しみだけど悲しい。金沢が一番好きな場所です」とあいさつした。

金沢百万石ロータリークラブ(RC)の特別例会は5日、ホテル日航金沢で開かれ、6月で米パファロー市に帰る国際青少年交換プログラムの留学生アリアナ・カルディナさん(19)を招き、別れを惜しんだ。写真

金沢百万石RC



パストガバナーからの手紙

179回 炭谷 亮一

宗教論その〇 マルチン・ルターは何故抹殺されなかったか？

ルターの抗議以前、ローマ教会は批判者を抹殺してきた。例えば、ボスニアで立ち上がったフスを破門、処刑に追い込み、ローマ教皇アレクサンドル 6 世を批判したフィレンツェのサロヴォナローラは教皇の政治力の前に自滅した。ところがローマ教会はマルチン・ルターだけは踏み潰せなかった。それにはいくつかの理由が絡んでいるが、最大の理由はルターのローマ教会に対する抗議とそれに続く宗教改革がドイツで起きたことである。ドイツの諸侯や富裕層にとってルターのローマ教会への抗議は、ローマ教会からの搾取から逃れるチャンスと映ったのである。実のところ彼らもローマ教会の権威を恐れていたもので、最初から積極的にルターを支援したわけではなかったが、たとえローマ教会からの命令があっても、利益をもたらすかも知れないルターを逮捕・処刑するつもりなどさらさらなかった。

当時は中世以来続いてきたドイツとローマ教会の腐れ縁の様な相互依存関係が存在した。それは 962 年にザクセン大公オットー 1 世がローマ教皇から「ローマ帝国皇帝」の称号を受ける。以後、ドイツ皇帝は「神聖ローマ帝国皇帝」に任ぜられて権威を得た上、ローマ教皇を保護するという名目で、イタリアの政治に口を出せる様になった。その一方、ローマ教会はドイツ各地の教会を通して、確実に富を得ることが出来た。ローマ教会がドイツ全体から得る収入は、ドイツ皇帝がドイツから得る収入の 10 倍を超えていた。むしろドイツの諸侯や庶民にとって迷惑な話である。ドイツの人々はキリスト教を信じつつも、ローマ教会に不当に搾取されているという思いを強くしていた。ドイツがローマ教会から搾取され続けたのは、ドイツが事実上分裂状態にあったからである。フランスやイギリスは絶対王政の時代に入っており、強力な王権がローマ教会の権益を排除していた。権力基盤の弱いドイツの諸侯たちはローマ教会の力を削ぐことが出来なかった。その結果、ドイツは「ローマ教会の乳牛」と言われる程、ローマ教会に貢ぎ続けることになった。その後ローマ教会の権益排除の目的もあり、ドイツにおいて宗教改革が断行された。故にローマ教会はルターを潰すことが出来なかった。更にはルターの改革がルネサンスの情報革命の成果を最大限に生かしたことに一因がある。

ルネサンス期の三代発明の一つがグーテンベルグの印刷術である。ヨーロッパにメディア革命をもたらした。紙へ印刷することによって、情報伝達のスピードは飛躍的に速く、正確になった。文字さえ読めれば、それまでは考えられなかったほどの大量の情報を手にすることが出来る様になった。教会や世俗権力が情報を統制しようとしても、紙を媒体とする情報は統制をすり抜けて拡散した。その様子は、今日のインターネットによる情報革命とそっくりである。ルターはまさにその情報革命の波に乗った。「95 ヶ条の論題」にはじまるルターの見解はパンフレットに印刷され、ドイツ中に配られた。これによりドイツ人たちはルターの考えを正しく知ることが出来、共鳴した人々はルターの支持に回ったのである。この様に印刷術の発達は、ローマ教会による知の独占を次々と突き崩していった。つまり当時聖書はギリシヤ語・ラテン語で書かれており、聖職者やごく一部の知識人しか読むことは出来なかった。又各国語への翻訳をローマ教会は禁止していた。故に一般庶民は聖書を直接読むことが出来ず、すべてが教会に支配されており、聖職者のウソもばれることはなかった。

はじめてルターは聖書をドイツ語に翻訳した。その後続々と各国語に翻訳され印刷された聖書が人々の手にわり、少なくとも文字を読める信者はローマ教会を介さずとも、神の教えを直接知ることが出来る様になった。ルターの宗教改革はドイツ人の識字率を高めるという副次的な効果をもたらした。宗教改革が始まった頃、ドイツ人の識字率は 5 %程度だったが、1 世紀後には都市部の識字率は 30 ~ 50 %に達していたと推定されている。その結果ゲーテやマックス・ウェーバー等の人類史上燦然と輝く「知の巨人」の輩出をみることとなった。

最後にドイツの小都市ウィッテンベルクの修道士マルチン・ルター、彼はキリスト教に深く帰依した聖職者であり、決してキリスト教を否定しようとしたわけではない。例えば彼はキリスト教の教義に反するコペルニクスの地動説は否定していた。ルターを憤激させたのはローマ教皇レオ 10 世が発行した、いわゆる免罪符であった。1517 年「95 ヶ条の論題」という形で抗議文を発表した。ローマ教皇の権威を恐れない硬骨漢は宗教改革ののろしを上げたのだった。

『2013-14 年度 慰労会(例会)』と『新入会員の歓迎会』のご案内

今年度野城会長・上杉幹事をはじめ役員の方々の慰労会と今年度入会頂いた宍戸会員、稲山会員、高田会員の歓迎会を下記の通り企画しました。多数ご出席いただきますようご案内申し上げます。ご家族の参加も歓迎いたします。  
 記：日時 2014 年 6 月 26 日(木) 19 時 00 分より 場所 ジャルダン ポール・ボキューズ  
 申込〆切 6 月 5 日(木) 金沢市広坂 21-1 しいのき迎賓館内(TEL:261-1161) 会費 会員・ご家族 13,000 円

**南光州 RC 朴天學先生から**

石丸先生、お元気の事と思います。  
 今度（6月1日）金沂秀会員が世話している金沢のグループ”銀河”（知的障害者音楽治療グループ）を光州に招請して私が後援している知的障害者施設”白善パウロの家”の子供達と共演をしました。  
 社会的に弱者である子供達に勇気と元気を、父母と後援者達には激励と慰労を与える感動的な演奏会でした。来年は金沢に連れていきたいと思っております。（添付パイルご参考ください）  
 韓国は今日地方選挙がありました。光州広域市長に眼科医師の当選が確実であります。広域市長又は道知事に医師は初めてです。  
 又他にニュースがあればお知らせ致します。 では さようなら 朴天学

知的障害者  
**日韓親善交流音楽集**  
 日本銀河Group, 韓国白善パオロ의 집




みんなと友達になろう  
 우리는 모두가 친구

2014.6.1. 12:30 場所:光州 聖都教會  
 主管:聖都教會[北嶽雲岩洞415-4][062-522-5712-3]  
 白善パオロ의 집[062-943-3300]  
 後援:南光州Rotary Club  
 大韓小兒青少年科學會光州全南支會

Program

1. 韓日親善(2-ブレイクダンス)  
 ★ 金구기 김구기 (祝儀になるために) 歌詞: 朴天學 作曲: 朴天學  
 歌者: 日本銀河Group 伴奏: 祝儀になるために
2. 韓日親善(吹奏楽)  
 指揮: 祝儀になるために
3. 音楽鑑賞(吹奏楽)  
 1) 祝儀になるために Bariton Solo 指揮: 祝儀になるために  
 ★ My way 作曲: 祝儀になるために  
 2) 祝儀になるために(吹奏楽) 指揮: 祝儀になるために  
 3) 祝儀になるために(吹奏楽) 指揮: 祝儀になるために  
 ★ 祝儀になるために(吹奏楽) 指揮: 祝儀になるために  
 4) 祝儀になるために(吹奏楽) 指揮: 祝儀になるために
4. 祝儀になるために(吹奏楽)  
 (祝儀になるために)  
 ★ 祝儀になるために(吹奏楽) 指揮: 祝儀になるために  
 ★ 祝儀になるために(吹奏楽) 指揮: 祝儀になるために



**ネパール研修ツアーのご案内**

会員各位 武藤清秀会員より

以前、例会で宅話をして頂いたカトマンズ在住のスングリミカ（高木美香）さんから標記のメールを頂きましたのでご案内します。

**趣旨：**途上国が抱えている問題、開発の現場、必要とされている支援とは、などを現地福祉大学の講師、大学院生と共に学び、考え、行動する研修ツアーです。

詳細は、添付資料及び下記の URL をご覧下さい。 [http://jepcs.co.jp/tours/nepal/nepal\\_fieldwork.html](http://jepcs.co.jp/tours/nepal/nepal_fieldwork.html)

なお、現地発着のツアーのため、旅行代金には日本からの航空券代は含まれていないようです。因みに、日本からカトマンズ（ネパール）への直行便はなく、乗り継ぎ便で、例えば、タイ航空を利用すると往復 13 万円～ 14 万円位かかります。

大学生なら夏休みを利用して、他のアジアの国もついでに訪れるという計画も可能です。お知り合いに興味のある方いらっしゃったら、私までご連絡下さい。

また、ネパールの治安については、特に心配する必要は無いと思いますが、ご質問があればご連絡下さい。米山奨学生であったソバナもカトマンズに住んでいますので、現地の情報は入手可能です。

**現地福祉大学の講師、大学院生と共に学び、考え、行動するインターンシップ研修ツアーのポイント**

**(1) 「ネパールの社会福祉や開発の現場を向上させたい」 専門家と一緒に実践的に学ぶ13日間**

ネパールの福祉大学の講師・大学生とともに開発について一緒に考えましょう。アプローチの仕方、方法論、問題提起、解決方法など、毎日の活動で感じたことをシェアしながら、自分自身も成長できる13日間です。60時間以上のボランティアワークを含む内容なので大学生なら担当教授と相談次第では卒業単位に認めてもらえることも可能。

**(2) 大都市カトマンズと地方の3つの村を比較しながらそれぞれが抱える問題を考える**

大都市には大都市の問題があり、村には村の問題があります。カトマンズと3つの隣接する村での活動から比較検討して浮かび上がるコミュニティが抱える問題をみんなで議論しましょう。また、異なる村の人々、可愛い子供とふれあえることも魅力のひとつです。

**(3) 実践重視のプログラムで自分自身の人間的成長も**

講義と実践を繰り返す毎日。グループワークを通じて芽生える達成感。現地住民やNGOとの共同作業から感じる連帯感。国際協力活動の醍醐味を様々な経験から体得していきます。

**(4) 市内観光や買い物の時間もたっぷり！**

世界遺産にあふれるカトマンズ盆地。寺院や王宮跡をめぐる市内観光はもちろん、買い物の時間も十分にとっているため、初めてのネパール訪問でも大

**ネパールの福祉大学の講師・大学生と一緒に農村開発・国際支援・社会問題を学ぶ13日間**

2014年8月7日～19日(13日間)／8月7日～14日(8日間)／最少催行人数 各6名

費用／旅行代金:79,800円～104,800円

※旅行代金には航空券代は含まれません。このツアーは募集型企画旅行(現地発着)となります。

ツアー内容(予定)

- ◎1日目(木) 夜 ネパール・カトマンズ空港到着
- ◎2日目(金) 午前 福祉社大学でオリエンテーション、講義、ワークショップ／午後 観光。
- ◎3日目(土) 朝 現地 NGO と寺院の清掃活動／午後 観光／夕方 活動地の村に移動。
- ◎4日目(日)～6日目(火) フィールドワーク1 バルデウ村 教会・小学校・農村でのワーク  
(※8日間コースの参加者は7日目はカトマンズに戻り観光・買い物。夜の便で日本に帰ります。)
- ◎7日目(水)～8日目(木) フィールドワーク2 ティカパイラブ村 病院と小学校でのワーク
- ◎9日目(金)～11日目(日) フィールドワーク3 テチョ村 孤児院と老人ホームでのワーク
- ◎12日目(月) 午前 福祉社大学で終了証授与／午後 買い物や観光など／夜 カトマンズ出発
- ◎13日目(火) 日本に到着

お問い合わせ・申し込み / 株式会社日本エコプランニングサービス <http://www.jeps.co.jp/>

「旅行業を通して訪問地の持続可能な発展に貢献すること」を目的に、2001年10月に設立された旅行会社。本社:東京都千代田区外神田5丁目5番地5号沼田ビル2F [TEL:03-5807-1691](tel:03-5807-1691) / [FAX:03-5807-1692](tel:03-5807-1692)

### 日本にとっての原発とは その3

村田祐一

毎日新聞によれば、「日本創成会議・人口減少問題検討分科会が5月8日発表した「2040年人口推計結果」。原発を誘致した自治体の多くが「消滅可能性」の危機にある、と指摘した。原発が立地する17自治体(福島県内を除く)のうち約7割の12自治体は、人口維持が困難になるという。誘致に伴う電源3法交付金や雇用増などを通じ、バラ色の未来を夢見た自治体には今、閉塞(へいそく)感が漂う。」とある。原発誘致で一時的に潤った地区で育った世代は大人になった時、故郷は大切だがもっと安全な場所に住みたいと思うのが自然の摂理です。化石燃料が高騰し、円安が重なり貿易収支が赤字になりました。当面、原発に頼り切り切ろうとしています。たとえ原発を再稼働しても核廃棄物の置き場があと数年で満杯になります。どうするのでしょうか?交付金で核廃棄物の置き場を募集すれども、今のところ危険極まりないので引き受ける自治体はありません。長い目で見れば、核廃棄物処理、過酷事故などを考えると決して原発は安い電源ではありません。むしろ厄介者以外の何物でもありません。

福島過酷事故により、かなりの福島、茨城の地域が放射線管理区域に相当する放射線に汚染されています。身近な放射線管理区域は病院の放射線科やアイソトープを使う施設にあります。それらの施設では厳重に放射性物質が管理され被曝を防止しています。しかし福島の大半、茨城の一部の地域では放置されています。放射線測定器も高い値のある場所を避けて数メートル離れたより低い場所に設定されています。ご都合主義でダブルスタンダードにあります。余りに対象者が多すぎて対応できないのならせめて、放射線の影響を受けやすい子供を守る手立てだけでも優先的に講じてほしいものです。無批判に放射線発生室に相当する場所で子供を育て続ける愚は避けたいものです。一方、逃げ出せない人々は留まらざるを得ず、たとえ逃げ出しても根無し草。被曝に対する意見の相違と仕事の板挟みで夫婦の仲も引き裂かれています。これまで原発で恩恵を受けていた集団、今回被害だけを受けた集団、逃げ出せた人と逃げ出せなかった人が引き裂かれています。被害を受けた人々を分裂させ、その力を分散させて交渉の力を弱めて、補償もスズメの涙でお茶を濁しています。東電はお金がないと居直っています。今のところ、これらの人々を置き去りにして日本経済は成り立っています。正しい姿ではありません。今の政治が続けば、明日はわが身になってもおかしくありません。

### 会員消息



#### 味噌豆つくり親子3代総勢10人で参加

江守 巧会員より

39 アースの企画で新保町での味噌豆つくり親子3代総勢10人で参加させていただきました。

去年は2畝を作りましたが今年は1畝です。

子どもたちは小川にいたおたまじゃくしに歓声を上げて大喜びでした。

もっともその近くで蛇を見つけた時の叫び声にはかないませんが・・・

39 アースの山本さんありがとうございました。

孫5人に自然を味わせたくって来ましたが、鶯の鳴き声に出迎えてもらいました。